



学校だより



開校115周年 港区立本村小学校 校長 山村 登洋
 H P <http://hommura-es.minato-kyo.ed.jp/> Eメール hommura-es@minato-kyo.ed.jp

本村っ子の幸せのために

校長 山村 登洋

新年のごあいさつ 希望に満ちた平成30年がスタートしました。旧年中は、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきまして感謝を申し上げます。本年も引き続きよろしく願いいたします。本日よりポップ・ステップからいよいよジャンプの3学期がスタートしました。年間の総仕上げの3学期。そして、次年度の進級・進学に備える3学期。3学期は1年間の総まとめ、総仕上げをして、一人一人が自分のよさと可能性を見いだす学期です。私たち教職員一同は、子供たちの一人一人がこの1年間でどう成長したか次の年度に期待することは何かを具体的に見だし、希望や目標を高くもって新たな年度に向かうようにリードしていきたいと考えます。

- 批判ばかり受けて育った子は、非難ばかりします。
- 敵意にみちた中で育った子は、だれとでも戦います。
- ひやかしを受けて育った子は、はにかみ屋になります。
- ねたみを受けて育った子は、いつも悪いことをしているような気持ちになります。
- 心が寛大な人の中で育った子は、がまん強くなります。
- ほめられる中で育った子は、いつも感謝することを知ります。
- 励ましを受けて育った子は、自信を持ちます。
- 公明正大な中で育った子は、正義心を持ちます。
- 思いやりのある中で育った子は、信仰心を持ちます。
- 人に認めてもらえる中で育った子は、自分を大切にします。
- 仲間の愛の中で育った子は、世界に愛を見つけます。

by ドロシー・ロー・ノルト



私のバイブル さて、上に掲げた言葉は、私が教員になったときに大変お世話になった先輩の先生からいただいた資料の一部です。自分が担任をしていて子供たちの指導に行き詰まった時、よくこれを読み返したものです。子供たちは、学校、家庭を含む地域の中で育ちます。学校・家庭・地域がそれぞれの立場から子供たちと関わり、三位一体となって子供たちを育てていくことが大切です。学校・家庭・地域で上の言葉を意識しながら一緒に子供を育てていくことができれば大変素晴らしいことだと思います。本村小学校では、子供たちの安全や幸せのために子供たちを見守ってくださる地域や保護者の方がいます。学校や地域の行事の際、子供たちに積極的に関わってくださるたくさんの保護者や地域の方がいます。また、ゲストティーチャーとして授業のお手伝いをしてくださる保護者、地域の方もいます。私は、学校・家庭・地域の連携がとてもうまくいっていると感じています。これからも子供たちが安心して楽しく、そして充実した学校生活を送れるように教職員一同、一致団結して教育に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

最後に上の言葉にぜひ、付け加えたい一文があります。

「笑顔の中で育った子供は、必ずだれかを幸せにします。」

今年も本村小学校は、子供たちの幸せのために笑顔が溢れる学校にしていきたいです。



授業の窓 2年生

2年生担任

いよいよ3学期を迎え、2年生も残り約3か月となりました。時の流れるのは本当に早いものです。2学期は、遠足、5年生との奉仕活動、幼稚園との交流給食、開校115周年記念展覧会など多くの行事があり、子供たちの様々な姿や成長の過程をみることができました。

遠足では、1年生と一緒に上野動物園へ行きました。午前中は、スタンプラリーを行い、班のメンバーで協力をしながらクイズに答えていました。お昼ご飯では、お家の方が作ってくださったお弁当をおいしくいただきました。午後は、班行動で相談しながらたくさんの動物を見て回りました。お兄さんお姉さんとして1年生をリードしようとする2年生の姿はとても頼もしいものでした。

2年生になって、図工は専科の先生と学習しています。いろいろな材料を使って様々な作品にも挑戦し意欲的に学んでいます。115周年記念展覧会では、一人一人が工夫を凝らし、一つの作品を作り上げることの喜びを感じてくれたことと思います。

2学期の終わりには生活科の学習で、1年生に昔遊びを教えました。役割分担からコーナー運営までを自分たちで行い、1年生から「楽しかった。」「またやりたい!」との感想があり、自分たちで最後までやり遂げることの楽しさを味わうことができましたと思います。

このように2年生になってできることが増え、より主体的に学習や行事に参加することができるようになりました。これは大きな成長の証だと感じます。

もうすぐ3年生になります。中学年に向けて新しいことにどんどん挑戦し、今まで気付かなかった自分の力に気付いたり、自信をもって学習に取り組んだりできるように頑張ってもらいたいと思います。

漢字検定にチャレンジ

国語部

昨年の「今年の漢字」は「北」でした。これは、毎年日本漢字検定協会が全国から募集する世相を表す漢字の中で一番多かったものです。2位「政」、3位「不」、4位「核」、5位「新」だったそうです。

「なるほど」とうなずかれる方も多いかと思います。このように漢字一文字でも様々なことを表すことができるのだということを改めて感じます。

本村小学校では、毎年、漢字検定を準会場として行っています。準会場とは設置条件を満たしている学校や団体が、自ら団体受検用の会場と責任者を設け実施する会場のことです。本年度は、2月9日(金)6校時に行います。今年度は一回のみの実施となります。自分の学年相当の漢字検定を受検する児童が大多数です。今年度学習してきた漢字の総復習だと考え、きちんと練習し本番に臨んでもらいたいです。採点基準でポイントとなるのはいくつかありますが、次の二つが重要だと思います。一つ目は採点の対象です。「筆画を正しく、明確に書かれた字を採点の対象とし、くずした字や、乱雑に書かれた字は対象外とする。」これは普段から丁寧な字を書く習慣を付けておく必要があるということです。ノートやテストやプリントといったものに取り組むとき丁寧な字を書くように心がけましょう。それが合格への近道です。二つ目は合格基準です。「1級～2級は200点満点で80%、準2級～7級は200点満点で70%、8級～10級は150点満点で80%」がそれぞれの合格ラインです。満点を目指してほしいですが、最後まであきらめずに何度も見直したり、考えたりして取り組んでほしいです。何事にも粘り強くあきらめずに取り組む姿勢を意識することが合格の鍵になります。

自分の目標に向かってチャレンジし、全員が合格できることを祈っています。



情報教育機器を使って

情報教育推進

本校では、1年生から6年生までの各教室に電子黒板用のプロジェクターが備え付けられ、国語、社会、算数、理科、書写のデジタル教科書がいつでも見られる状態になっています。また、タブレット端末も1人1台使うことができます。このように、本村小学校は、情報機器が充実した環境になっています。

デジタル教科書を使うことで、たくさんの利点があります。例えば、5年生の社会では、教科書に載っている写真のインタビューの様子を動画で見たり、漁業をしている人の様子を動画で見たりすることができます。算数の図形の単元では、図を動かして考えることもできます。そのほかの情報機器として、実物投影機もあります。例えば、算数では、実際に児童が書いたノートを実物投影機で拡大することで、なぜ、このような考え方をしたのか、他の児童が説明することに使っています。

このように、情報機器を利用することで、教室だけで学習しては、聞けない話や見るできない様子が分かったり、児童の考えを学級全体に簡単に共有したりすることができます。

しかし、このように便利な情報機器ですが、情報機器を使えるようにする学習ではありません。どのように考えを深めていくかといった学習目的を達成するために、情報機器を取り入れることが重要です。

例えば、タブレット端末を使って、調べ学習をする際も、タブレット端末を使って調べたことを



、どのように自分たちの学習に生かしていくかが大切になります。ただ、インターネットで調べるのではなく、この課題を調べるためには、インターネットを使いたいと思う気持ちが大切です。

たくさんの手段の中から、自分の課題を解決するために何をすることが良いのか考え、選択できる児童を育てていきたいと思っています。

あいさつは礼儀だ

生活指導委員会

『年の初め』という大きな節目を迎え、「おめでとうございます」としっかり挨拶をする子供の姿を見ると、微笑ましく、こちらも気持ち良くなります。「お家の人がしっかり教えてくれているのだろうな」と感心させられます。親しい間柄でも、きちんと年始の挨拶をする大人の姿を見ているからこそできるのだと思います。

正月をはじめとした節目の行事は、その意味を子供に伝え、場に合った立ち居振る舞いを見せることができる絶好の機会といえます。子供たちは、大人同士の挨拶や言葉遣い、その時々に合わせて服装などを見て、また実際にやることで学んでいきます。そのような営みの中で大人から子供へと『礼儀』が伝えられていくのではないのでしょうか。

加えて、『礼儀』は普段の生活の中で学ぶことができます。人にお会いしたとき、お礼をするとき、譲ったり、譲られたりしたときなど様々な機会に礼儀正しくできることで人としての大切なことを学べると思います。学校生活でも同じことが言えます。先生方や主事さん方に礼儀正しくできているのでしょうか。学校でできる『礼儀』はまず挨拶です。最近子供たちは挨拶ができるようになってきています。これが年間ずっと続き『礼儀正しさ』があふれる気持ちの良い学校にしていきたいです。

1月の生活目標 「礼儀正しくしよう」



<今月の生活努力目標>

- ・気持ちのよいあいさつをしよう
- ・正しい言葉遣いをしよう
- ・きちんとした身なりをしよう
- ・集まりや入室を早くし、時間を守ろう

かかわりを通した学習活動

総合的な学習の時間・生活科部

「生活科」は低学年、「総合的な学習の時間」は中・高学年が学びます。本来全く別の学習ではありますが、共通する部分も多くあります。どちらも、具体的な活動や体験、社会や自然、様々な人とのかかわりを通して、自ら課題をもち解決していくという学習です。生活科には教科書がありますが、総合的な学習の時間には教科書は存在せず、学校独自のカリキュラムによって進めていきます。

1年生の生活科の学習では、1月に「昔遊び名人に教わろう」と題して、地域の方をお招きして、けん玉・こま・メンコ・あやとり・おはじき・お手玉などの伝承遊びを教えてください。

2年生の「町探検」の学習では、天真寺ご住職や、本村町会長の久松様に、地域の歴史について伺いました。

3年生は「めざせ！本村はかせ」で、麻布警察の方を招いて、地域の安全について伺い、安全マップを作っていきます。

4年生は「ユニバーサルデザイン イン 本村」と称して、福祉について学んでいきますが、視覚障害の方や、聴覚障害の方、松葉づえサッカーの日本代表選手をお呼びして、共に生きていく世の中について考えました。

5年生は、オリンピック・パラリンピック教育の友達プロジェクトとして、マレーシアの留学生をお呼びして国について学んだり、フランス大使館との交流を行ったりしました。

6年生は、箱根移動教室の事前学習を学校で行ったうえで現地に向かい、実際に寄木細工の職人の方から本物の力強さを感じ取りました。

このように、子供たちは、人とのかかわりを通して多くのことを学びます。本物を知る人から得られる刺激や体験活動から多くのことを考え、学び取るのだと思います。子供にとって生きた学習としていくために、今後も地域や外部の講師の方に教えていただくよう計画を組んでいきます。また、総合的な学習の時間では、“自分たちには何ができるか”という視点で子供が自ら考え、実践していくことで、深い学びにつなげていきたいです。

1月の行事予定

日	曜日	学校行事予定等
1	月	元日 冬季休業日
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	冬季休業日終
8	月	成人の日
9	火	始業式 全校朝会 給食開始 4時間授業
10	水	B時程 4時間授業(区研修会のため) 書き初め大会(5年 1・2校時)
11	木	書き初め大会(5年以外) ☆
12	金	B時程6時間授業(会議のため) 安全指導 発育測定(1年) 昔遊び(1年 3・4校時) Enjoy Music(4年)
13	土	
14	日	
15	月	全校朝会 発育測定(6年)
16	火	体育集会 委員会 発育測定(5年) 愛のハガキ運動(始)
17	水	B時程 5時間授業 フットサル教室(若竹) 発育測定(若)
18	木	音楽集会 発育測定(4年)
19	金	B時程 6時間授業(会議のため) 発育測定(3年) フットサル教室(若竹) 愛のハガキ運動(終)
20	土	土曜授業日 B時程 3時間授業 体育集会(長縄大会) 書き初め展(始)
21	日	
22	月	全校朝会 高陵アカデミー書写展(始) 発育測定(2年)
23	火	朝読書 社会科見学(4年)
24	水	B時程 5時間授業 避難訓練 長縄大会(予備日)
25	木	4時間授業(校内研究のため若竹は5時間授業) 児童集会
26	金	B時程4時間授業(区研究会のため) フットサル教室(若竹) 書き初め展・高陵アカデミー書写展(終)
27	土	高陵地区もちつき大会(高陵中)
28	日	
29	月	B時程6時間授業(会議のため)
30	火	全校読み聞かせ 西町インター交流(2年) 初釜茶会(若竹) クラブ
31	水	トヨタ自動車ゲストティーチャー授業(5年)

☆放課後遊び

※天候等の関係で、予定が変更することがありますのでご了承ください。

